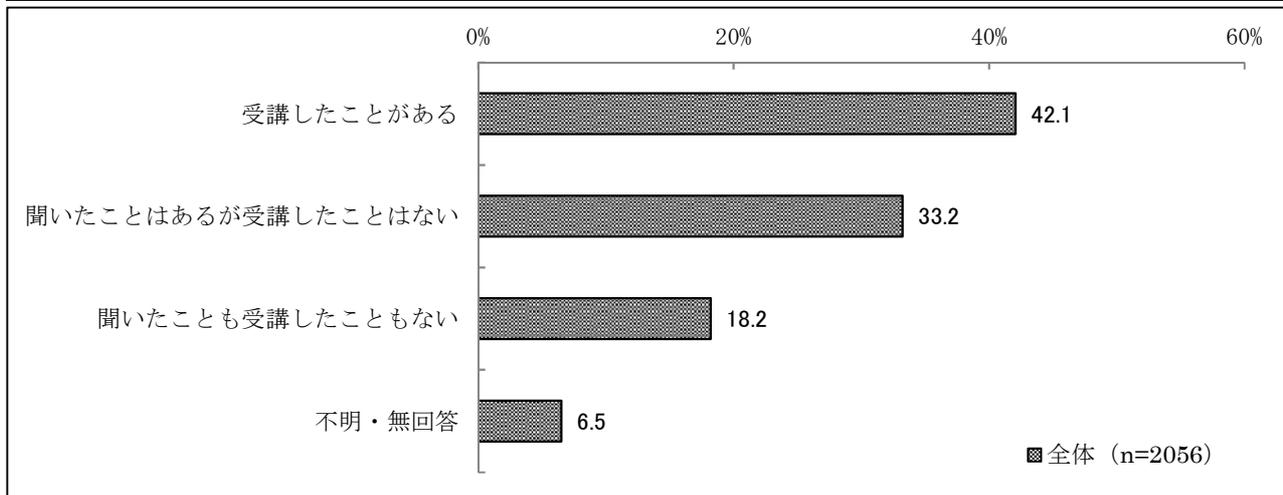


3. 応急手当普及啓発の現況について

(1) 応急手当講習会の受講経験

問13 消防局では「応急手当講習会※」を開催しています。あなたは、「応急手当講習会」について聞いたり受講したりした経験がありますか。(〇は1つだけ)
※…心肺蘇生やAEDの取り扱いなどの普及啓発を目的とした事業



— 「受講したことがある」が約4割 —

【全体結果】

「受講したことがある」(42.1%)が約4割となり、割合が最も高い。「聞いたことはあるが受講したことはない」(33.2%)は3割強、「聞いたことも受講したこともない」(18.2%)は約2割となった。

【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

① 地区別

中央区を除くすべての地区で「受講したことがある」が4割を超えている。

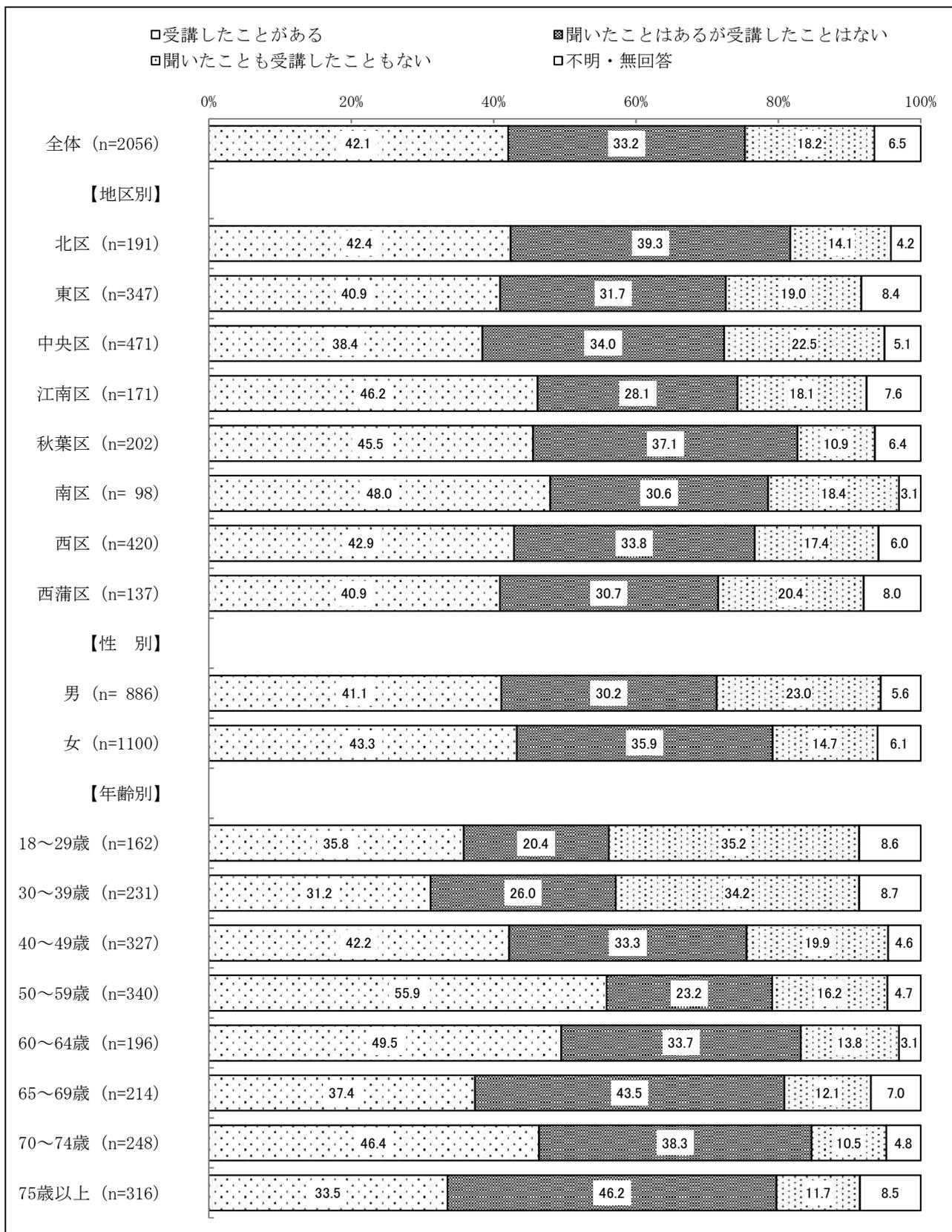
② 性別

「受講したことがある」と回答した割合は、男性(41.1%)と比較して女性(43.3%)でやや高い。

③ 年齢別

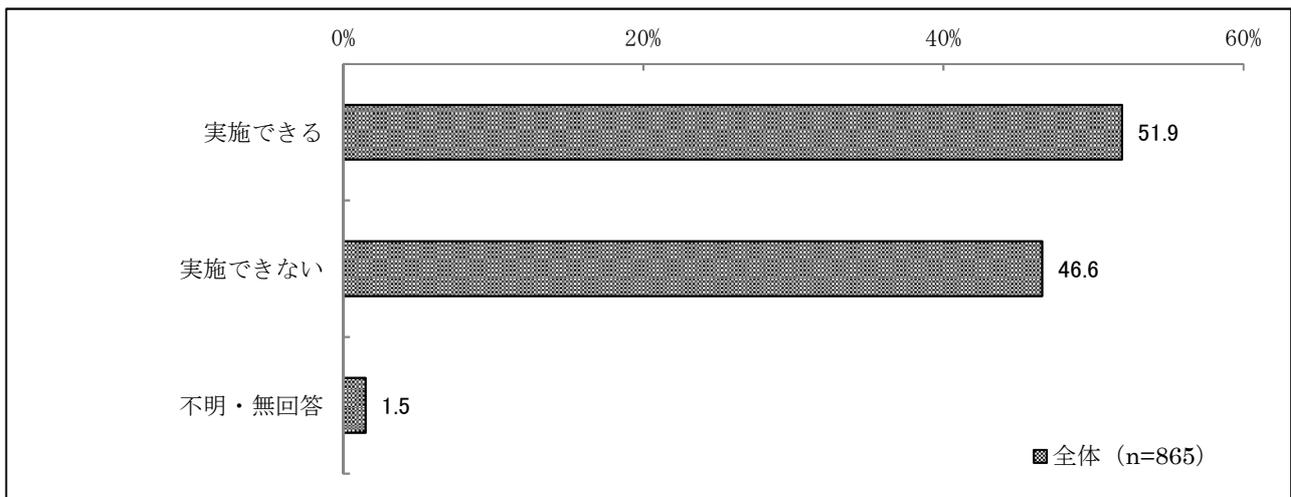
「受講したことがある」と回答した割合は、50～59歳(55.9%)で最も高く、5割を超えた。「聞いたことも受講したこともない」の割合は、18～39歳の若い年代で高く、3割以上となった。

図 3-1 応急手当講習会の受講経験（地区別/性別/年齢別）



(2) 応急手当の実施可否

問14 上記問13で、「1. 受講したことがある」と回答した方へ質問です。あなたは目前で倒れた人がある場合、応急手当を実施できますか。(○は1つだけ)



— 「実施できる」が約5割 —

【全体結果】

「実施できる」(51.9%)が約5割、「実施できない」(46.6%)が4割半ばとなった。

【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

① 地区別

「実施できる」と回答した割合は、中央区(59.1%)、東区(57.7%)で高い。

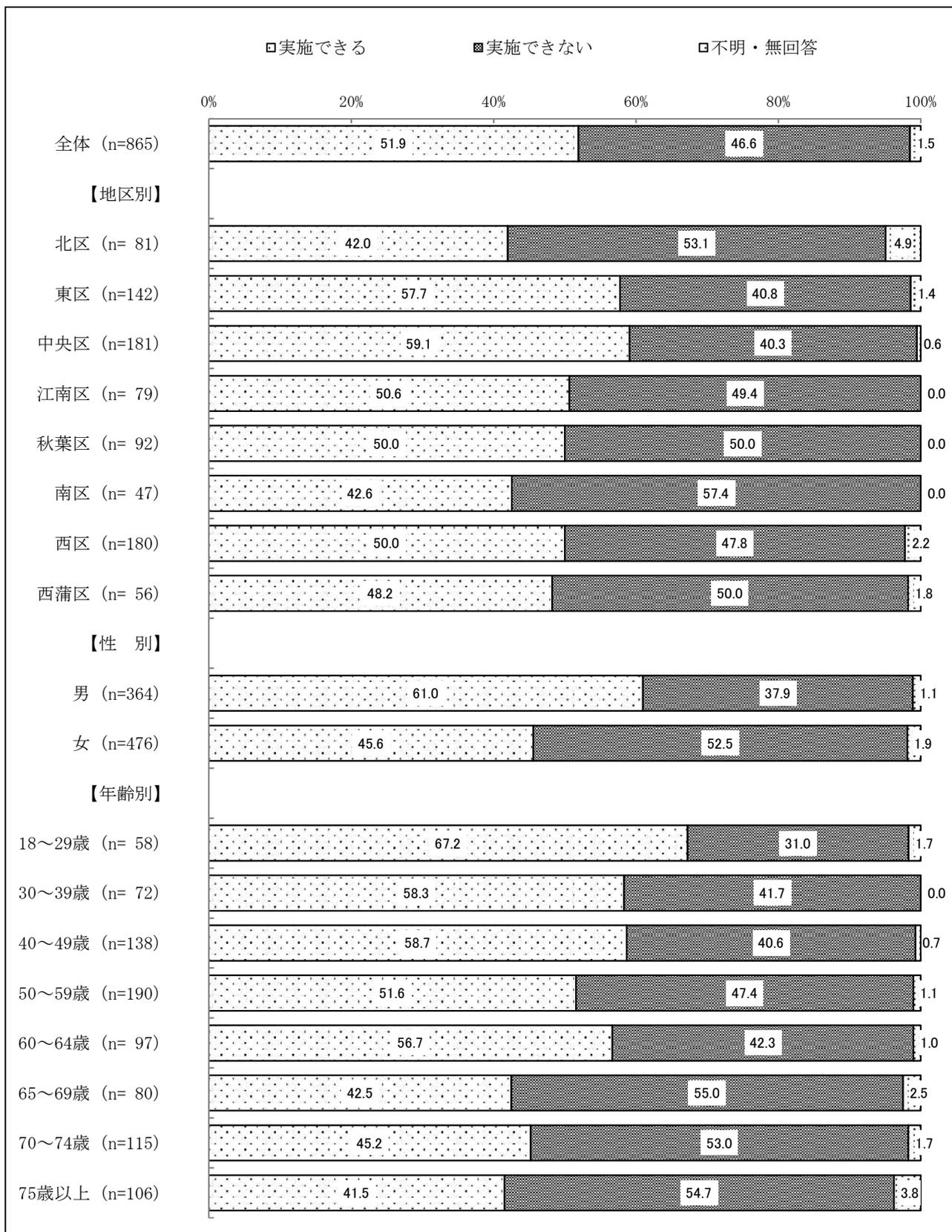
② 性別

「実施できる」と回答した割合は、女性(45.6%)と比較して男性(61.0%)で高い。

③ 年齢別

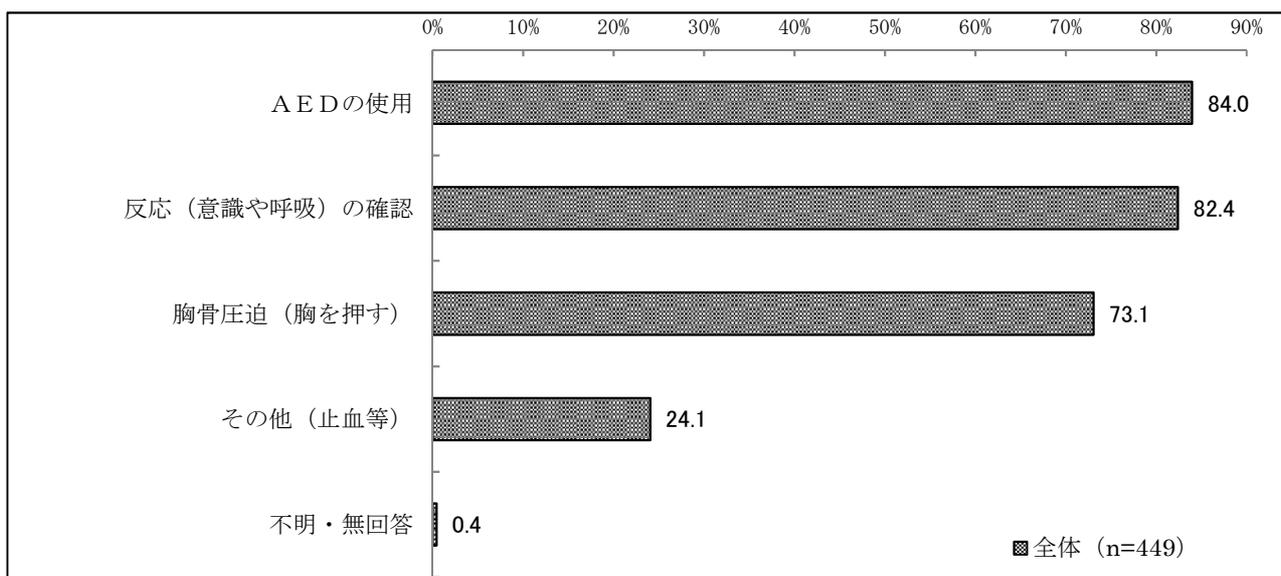
「実施できる」と回答した割合は、18~29歳(67.2%)で最も高く、7割弱となった。

図 3-2 応急手当の実施可否（地区別/性別/年齢別）



(3) 実施できる応急手当

問15 上記問14で「1. 実施できる」と答えた方に質問です。
実施できる応急手当を選んでください。(〇はいくつでも)



— 8割以上が「AEDの使用」、「反応(意識や呼吸)の確認」を実施できると回答 —

【全体結果】

「AEDの使用」(84.0%)、「反応(意識や呼吸)の確認」(82.4%)の割合が高く、8割を超えた。「胸骨圧迫(胸を押す)」(73.1%)は7割強となった。

【属性別結果】(次ページ図3-3参照)

① 地区別

「AEDの使用」については、南区、西蒲区を除くすべての地区で8割を超え、特に北区(91.2%)、江南区(90.0%)で割合が高く、約9割となった。「反応(意識や呼吸)の確認」については、南区(90.0%)、西蒲区(85.2%)で割合が高い。

② 性別

「AEDの使用」、「胸骨圧迫(胸を押す)」については、女性(各81.6%、69.1%)と比較して、男性(各86.9%、76.6%)で割合が高い。「反応(意識や呼吸)の確認」については、男性(78.4%)と比較して、女性(86.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

「AEDの使用」、「反応(意識や呼吸)の確認」については、30~39歳(各90.5%、92.9%)で割合が高く、9割を超えた。

図 3-3 実施できる応急手当（地区別/性別/年齢別）

